



静岡商工会議所 会頭

後藤 康雄

はごろもフーズ(株) 代表取締役会長

## PRESENCE'16(プレゼンス シックステイン) 存在感ある組織をめざして

あけましておめでとうございます。年頭にあたり、会員の皆様のご健勝とご繁栄を心からお慶び申し上げます。

さて、昨年のわが国経済は、円安や原油安、過去最高を更新したインバウンドの恩恵もあり、全体としては緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、新興国経済の減速により世界経済の動向は不透明感を増しており、また来年4月には消費税率の再引き上げが予定されていることから、本格的な景気回復に向けては、いまだ予断を許さない状況が続いています。

一方、全国的な人口減少社会への対応として、地方創生の取組みが始ま

り、県・市におきましても新たな総合戦略が決定しました。また昨年10月には、5年に及ぶ交渉の末、TPP交渉が大筋合意に至りました。TPPは成長戦略の重要な柱であり、今後はこれが地域経済や中小企業にとって実効性の高いものとなるよう期待しているところであります。

このような中、静岡商工会議所では、第2次中期行動計画『プレゼンス'16』の2年目を迎えました。「地域企業から選ばれる、存在感ある組織」をめざして、『企業づくり』、『地域づくり』、『基盤づくり』の3つのテーマのもと、その実現に取り組んできたところです。





『企業づくり』におきましては、経営発達支援計画の認定を受け、伴走型の小規模事業者支援事業を推進するとともに、地域金融機関や当商工会議所が運営する中小企業再生支援協議会、事業引継ぎ支援センター、よろず支援拠点等と連携を図り、地域企業の様々なニーズに対応するサポート体制の強化を図っています。

また、人口減少が進む中、ジョブ・カードセンター事業に加え、会員企業と首都圏学生のマッチング事業や、プロフェッショナル人材戦略拠点事業を新たに実施するなど、地域企業の人材確保支援に力を入れています。

『地域づくり』におきましては、「家康公四百年祭」が本番を迎え、徳川家臣団大会や駿府天下泰平まつり、全国商工会議所観光振興大会の開催や、プレミアム付商品券事業などにより、当地域の交流人口の拡大や消費喚起に資する事業を推進してきました。

こうした取組みを一過性に終わらせないよう、郷土の誇りである家康公を当地域の重要な資源の一つとして、観光振興をはじめ、地域の活性化に活かしてまいりたいと考えています。

また、清水港周辺の海洋文化発信拠点の核となる施設の検討やウォーターフロントの賑わい創出に向けた調

査・研究を行うため、「海洋文化拠点づくり推進特別委員会」を設置し、活動を始めたところです。

『基盤づくり』におきましては、おかげさまで昨年も一万三千会員を維持することができました。全国で七番目の規模の商工会議所として、引き続き、地域や会員の皆様のニーズに対応した事業を実施し、会員満足度日本一の商工会議所をめざしてまいりたいと考えています。

第2次中期行動計画の2年目である昨年は、「家康公四百年祭」をはじめとした地域活性化事業のほか、地域企業がそれぞれのライフステージ（創業・成長・発展・承継）で抱える様々な課題に対し、ワンストップで対応できる体制を強化するなど、経営支援事業を推進してまいりました。3年目となる本年は、第2次中期行動計画の集大成の年となります。従来の商工会議所の枠にとらわれず、『静岡型』の商工会議所として、当地域でのプレゼンスが更に高まるよう取り組んでまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年になりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

